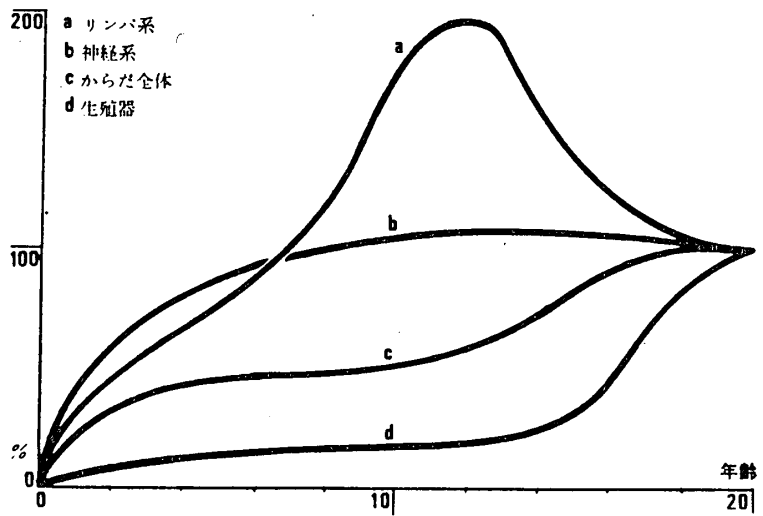


A 11 各部分の成長速度

このグラフはからだのいろいろな部分が成長する速さを示しています。最もゆっくりなのは、精巣、精巣上体、精嚢、前立腺などの生殖器です。次に遅いのはからだ全体（骨格、筋肉、外側の大きさ、血液の量）です。多くの内臓も同じです。いちばん早く（初期）発達するのが中枢神経系（脳と脊髄）と頭の各部分です。一時期、リンパ系が最も早く成長しますが、やがてまた縮んでしまいます。からだの中で、一時期にせよ、最終的な大きさよりずっと大きく成長するのはリンパ系だけです。



(ダイアグラム・グループ編 前掲書P17)

6. 総合学習・授業案「心の悩み」について

安藤 富美子

〔題目〕 心の悩み

〔授業者〕 安藤 富美子

〔日時〕 昭和61年5月20日

〔本時の位置〕 「生命」について、宇宙カレンダー、進化、神話などを通し、生物における「生命の誕生」を理解し、生殖、成長、老化、遺伝子などから、個体としての人間の「生命」について考えてきた。本時では、人間のもう1つの生命、精神について、その発達、働き、体との関係について、理解させ、今後のそれぞれの生き方について各自が考えて行けるようにしたいと思うものである。

〔本時の目標〕 「人間は考える葦である」といわれ、動物と人間との大きな差は、「考える」こと、つまり、大脳の発達にあり、それによって、今日の高度な文明が造り上げられたといえよう。しかし、その反面、「考える」こ

とにより、人間は、様々な問題に直面し、悩み、苦しみ、喜び、悲しむことになる。その時、脳だけが、その作用を行い、他の器官は、全く関係がないのだろうか。そうではないことは、人間ならだれでも解ることである。頭痛がしたり、腹痛がしたり、胃が痛くなったり、もっとひどくなれば、学校へ行かない、暴力をふるう、自殺をするなど様々な影響がでてくる。なぜそのようなことが起るのか。

本時では、心の発達を知らせ、心と体の結びつきのメカニズムを理解させ、なぜ、悩むことにより、体などに、様々な異常が起るのか、理解させる。そして、現在、社会的問題となっている自殺者の増加の原因を考えさせ、自分達が、高校1年生の時書いた、悩みをみて、2年前の自分と現在の自分との変化をみつけさせる。

